

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己評価および外部評価結果

事業所名

ツクイ都留中津森グループホーム

自己	外部	項目	自己評価(実状況)		外部評価	
			ユニット名(竹とんぼ)	ユニット名(紙ふうせん)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	住み慣れた町で、幸せと感じる時を大切にします。一人一人の気持ちに寄り添い、ゆとりある時間を大切にする生活を支援します。という理念のもと入居者様に寄り添うケアが出来るようにしています。	住み慣れた町で、幸せと感じる時を大切にします。一人一人の気持ちに寄り添い、ゆとりある時間を大切にする生活を支援します。という理念のもと入居者様に寄り添うケアが出来るようにしています。	理念は、月1回のミーティング時に会社の方針と共に管理者がその意義・意味をかみくだいて説明している。事業所内にも掲示し全職員で共通認識のもと支援している。朝は特に利用者の様子を把握しその日1日が落ち着いて送れる様な対応に心がけている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	日々の散歩の際、地域の方とあいさつを交わしたり会話をしたりするようにしています。地域開放行事を同敷地内のDSと共同開催し、地域の方との交流を深める機会を作っています。今年は地域の文化祭に作品を出品する予定になっており準備もしています。	日々の散歩の際、地域の方とあいさつを交わしたり会話をしたりするようにしています。地域開放行事を同敷地内のDSと共同開催し、地域の方との交流を深める機会を作っています。今年は地域の文化祭に作品を出品する予定になっており準備もしています。	毎日1度は外に出る機会を作っている。近くのガソリンスタンドやコンビニエンスストアでは、地域の方々と触れ合いが出来ている。今年の夏祭りは家族・ボランティア・子供も含めた地域の方々の参加が多数あった。地域の情報は職員や運営推進会議メンバーから得ているが自治会加入を今後取り組んでいきたいと考えている	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	月2回入居者様と職員で、近隣の清掃活動を行っています。(今年は酷暑の為実施出来ない月もありました)	月2回入居者様と職員で、近隣の清掃活動を行っています。(今年は酷暑の為実施出来ない月もありました)		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	隔月に運営推進会議を開催し、入居者様家族や、行政担当者、民生委員に出席して頂いています。民生委員の方は、毎回出席をしてくださり、自治会の集まりの際に当グループホームの災害時の避難等について連携が取れるように関わってくださっています。協力体制の構築を図っていきたく思います。	隔月に運営推進会議を開催し、入居者様家族や、行政担当者、民生委員に出席して頂いています。民生委員の方は、毎回出席をしてくださり、自治会の集まりの際に当グループホームの災害時の避難等について連携が取れるように関わってくださっています。協力体制の構築を図っていきたく思います。	会議は、奇数月の第3火曜か木曜日の午後で開催している。家族には全員に参加の案内を出している。事業所の運営内容の報告や各委員からの意見など1時間位の会議である。会議で地域の情報を得て今文化祭の参加作品に取り組んでいる。また、地域の災害訓練参加も運営推進会議の中で話し合い参加に向け取り組んでいる。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	文書関係での報告を行ったり、電話・FAX・郵便での情報を頂いたり、相談も随時させて頂いております。また、当グループホームとして行政と協力してできる事については模索しており協力していきたいと思っています。	文書関係での報告を行ったり、電話・FAX・郵便での情報を頂いたり、相談も随時させて頂いております。また、当グループホームとして行政と協力してできる事については模索しており協力していきたいと思っています。	グループホーム通信を送付したり、困難なケースについての相談をしている。市からは、研修会の案内が届いたり災害についての情報提供がある。事業所として市に協力出来る事があれば協力し協力関係の構築を目指している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月身体拘束廃止委員会を開催しており、話し合いを行っています。事例検討会や、DVDによる学習会も実施しております。身体拘束禁止に関する指針を事業所内に掲示し職員への周知と意識を高める取り組みを行っています。年に1度は事業所研修としての時間も設けております。	毎月身体拘束廃止委員会を開催しており、話し合いを行っています。事例検討会や、DVDによる学習会も実施しております。身体拘束禁止に関する指針を事業所内に掲示し職員への周知と意識を高める取り組みを行っています。年に1度は事業所研修としての時間も設けております。	2名の委員を中心に身体拘束廃止に取り組んでいる。身体的な拘束はないが、言葉遣いについては、職員同士で注意し合っている。管理者も気づいた時に声を掛けている。2階の入り口は階段に続いており危険なため施錠しているが、利用者の行動制限にならぬ様に声掛けして対応している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	上記と同様に虐待防止についても毎月話し合いを行い、職員への意識向上への取り組みを行っています。	上記と同様に虐待防止についても毎月話し合いを行い、職員への意識向上への取り組みを行っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を利用されている入居者様がいらっしゃいます。長年入居されており職員も理解はしておりますが、更に理解が深められるよう、研修も行っていきたく思います。	成年後見制度を利用されている入居者様がいらっしゃいます。長年入居されており職員も理解はしておりますが、更に理解が深められるよう、研修も行っていきたく思います。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・退去時にはご家族に十分説明を行い、理解して頂いております。	契約・退去時にはご家族に十分説明を行い、理解して頂いております。		

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己評価および外部評価結果

事業所名 **ツクイ都留中津森グループホーム**

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(竹とんぼ)	ユニット名(紙ふうせん)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談窓口を本社・事業所に設けています。また契約時には市町村、国保連の相談窓口のご案内をしています。当事業所において直接要望をおっしゃって下さるご家族様がほとんどですが、遠慮せずおっしゃって頂けるような関係性の構築を図る努力をしています。	苦情相談窓口を本社・事業所に設けています。また契約時には市町村、国保連の相談窓口のご案内をしています。当事業所において直接要望をおっしゃって下さるご家族様がほとんどですが、遠慮せずおっしゃって頂けるような関係性の構築を図る努力をしています。	家族会は、年に1回開催している。今年は、バーベキューを行い家族同士の交流の機会にもなった。面会時は、利用者の最近の様子を伝える等して家族が話しやすい雰囲気づくりを心がけている。「入浴の回数を増やして欲しい」「受診時の服装について」などの意見があり検討している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	朝礼・毎月のミーティング時に意見や提案を出せるような環境づくりをしています。「相手を否定せず他者の意見は聞く」を随時職員には伝えて自分の意見が言える職場づくりをしています。	朝礼・毎月のミーティング時に意見や提案を出せるような環境づくりをしています。「相手を否定せず他者の意見は聞く」を随時職員には伝えて自分の意見が言える職場づくりをしています。	本社の相談窓口やメンタルヘルスの相談窓口もある。この窓口は職員だけでなく職員家族でも相談できる。管理者との年2回の面談は本社から義務づけられ実施している。職員配置やケアの方法についての意見が出たり、備品の要求や外出の計画などについての意見もある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務時間帯や勤務日を考慮してシフト作成を行っています。資格手当の支給や、職員の得意な分野を引き出し担当者として、やりがいを持って働けるように配慮しています。	勤務時間帯や勤務日を考慮してシフト作成を行っています。資格手当の支給や、職員の得意な分野を引き出し担当者として、やりがいを持って働けるように配慮しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内外の研修・行政の研修の案内を職員に周知し、受講出来るよう努めています。また事業所内において、月1回職員全員で研修を行い、知識・技術の習得の機会を確保しています。	社内外の研修・行政の研修の案内を職員に周知し、受講出来るよう努めています。また事業所内において、月1回職員全員で研修を行い、知識・技術の習得の機会を確保しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内のGHの管理者・計画作成担当者や、DSの管理者等との交流の中で、様々な情報の交換を行っています。また、外部研修等でも他の施設の方たちとの交流を持ち、情報交換・意見交換を行っています。	法人内のGHの管理者・計画作成担当者や、DSの管理者等との交流の中で、様々な情報の交換を行っています。また、外部研修等でも他の施設の方たちとの交流を持ち、情報交換・意見交換を行っています。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	直接職員がご自宅や他の施設に伺いご本人やご家族様より、現在困っている事や不安に思う事などお話を伺うようにしています。入居後は、不安なく過ごして頂けるよう、寄り添うケアを心がけています。職員間での情報共有を行い安心して過ごして頂けるよう配慮しています。	直接職員がご自宅や他の施設に伺いご本人やご家族様より、現在困っている事や不安に思う事などお話を伺うようにしています。入居後は、不安なく過ごして頂けるよう、寄り添うケアを心がけています。職員間での情報共有を行い安心して過ごして頂けるよう配慮しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前にご家族の想いや希望を伺い、ご家族の想いに添えるよう努めています。連絡をこまめに行い、特に入居された翌日には、ご家族に入居してから夜間の様子等を連絡しています。	入居前にご家族の想いや希望を伺い、ご家族の想いに添えるよう努めています。連絡をこまめに行い、特に入居された翌日には、ご家族に入居してから夜間の様子等を連絡しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人・ご家族からの情報の中から、支援が必要な部分を見極め自立の部分は継続して頂けるようにしています。	ご本人・ご家族からの情報の中から、支援が必要な部分を見極め自立の部分は継続して頂けるようにしています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	掃除・洗濯・調理・買い物と一緒に、コミュニケーションを図っています。畑での野菜作りの際には、入居者様のご指導のもと職員と一緒に作業しています。	掃除・洗濯・調理・買い物と一緒に、コミュニケーションを図っています。畑での野菜作りの際には、入居者様のご指導のもと職員と一緒に作業しています。		

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己評価および外部評価結果

事業所名

ツクイ都留中津森グループホーム

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(竹とんぼ)	ユニット名(紙ふうせん)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時には、日頃の様子をお伝えし、対応に戸惑う時には、ご家族からの情報を頂き、ご本人にとって最善の方法を導きだすように努めています。変化がみられた際には、報告・相談をしています。	面会時には、日頃の様子をお伝えし、対応に戸惑う時には、ご家族からの情報を頂き、ご本人にとって最善の方法を導きだすように努めています。変化がみられた際には、報告・相談をしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方の面会・外出・外泊は制限なく行っていただいております。	馴染みの方の面会・外出・外泊は制限なく行っていただいております。	馴染みの人や場所については、入所時のアセスメントから把握してその関係が継続できるように支援している。近所の親しくしていた人が面会に来たり、祭りに連れて行ってくれた。友人と食事会に出かけたり、家族と彼岸やお盆の墓参りをする利用者もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士が良好な関係を築けるよう、職員が多く関わりを持ち援助しています。	入居者様同士が良好な関係を築けるよう、職員が多く関わりを持ち援助しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された方のご家族からの相談を受けたり、居宅ケアマネジャーへの情報提供をしています。	退去された方のご家族からの相談を受けたり、居宅ケアマネジャーへの情報提供をしています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	計画作成がモニタリングを行い、把握に努めています。カンファレンスの際には職員全体で検討・把握をしています。	計画作成がモニタリングを行い、把握に努めています。カンファレンスの際には職員全体で検討・把握をしています。	入居者同士の会話の中から暮らし方の希望を聞いた時は計画の中に入れていく。また、理念にもある様にゆったりした気持ちで日々支援している中からも思いの把握が出来ている。困難な利用者は、過去の職歴や生活歴から思いを掴んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	初回面談時に生活歴などをご本人・ご家族・居宅ケアマネジャー・関係者の方から情報を収集しています。入居後は、ご本人との会話の中から理解を深めています。	初回面談時に生活歴などをご本人・ご家族・居宅ケアマネジャー・関係者の方から情報を収集しています。入居後は、ご本人との会話の中から理解を深めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1日を通しての様子や行動の情報共有を行い、カンファレンス屋朝礼の際把握に努めています。	1日を通しての様子や行動の情報共有を行い、カンファレンス屋朝礼の際把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	3カ月ごとのモニタリング時に、ご本人・ご家族の意向を尊重しながら、職員間での情報交換・検討を行い、ご本人にとって必要とされる介護計画書を作成しています。	3カ月ごとのモニタリング時に、ご本人・ご家族の意向を尊重しながら、職員間での情報交換・検討を行い、ご本人にとって必要とされる介護計画書を作成しています。	毎月のミーティング時に、数名づつ本人・家族の意向を聞き、カンファレンスを行っている。往診医師の居宅療養指導報告書の提出もありカンファレンスに活かしている。大きな状態変化には速やかに対応し、必要な支援を入れた介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、個別のケアプランに沿った記録を行っています。モニタリング時の参考にしています。	毎日、個別のケアプランに沿った記録を行っています。モニタリング時の参考にしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	様々なニーズに対応出来るよう、同法人のデイサービス・訪問入浴・訪問介護サービスとの連携を図るようにしています。	様々なニーズに対応出来るよう、同法人のデイサービス・訪問入浴・訪問介護サービスとの連携を図るようにしています。		

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己評価および外部評価結果

事業所名

ツクイ都留中津森グループホーム

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(竹とんぼ)	ユニット名(紙ふうせん)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	避難訓練時には、消防署の方、ボランティアの方との交流、中学生の職場体験の受け入れをし交流の機会を作っています。	避難訓練時には、消防署の方、ボランティアの方との交流、中学生の職場体験の受け入れをし交流の機会を作っています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診時には、日頃の様子をお伝えしています。必要時には、受診に付き添い日頃の様子変化をお伝えし、医師の指導を受けています。	受診時には、日頃の様子をお伝えしています。必要時には、受診に付き添い日頃の様子変化をお伝えし、医師の指導を受けています。	1名は、家族対応で受診しているが、他は利用者・家族の希望で月2回の往診医の診察を受けている。必要時は、歯科の往診もある。隣接の事業所からは、看護師の週1回訪問や、緊急時の対応等協力を受けている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	24時間医療連携体制を整え、看護師が定期的に健康管理にきている。バイタルチェック・内服薬に関する相談・排泄・食事の状況について相談をしています。容態の変化時には緊急の対応をいただいております。オンコール体制を整えています。	24時間医療連携体制を整え、看護師が定期的に健康管理にきている。バイタルチェック・内服薬に関する相談・排泄・食事の状況について相談をしています。容態の変化時には緊急の対応をいただいております。オンコール体制を整えています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時には、情報を提供しています。入院中の経過は、訪問し看護師に伺い経過を把握しています。退院時には担当看護師より情報を伺い、看護サマリを頂いて、退院後の参考にしています。	入院時には、情報を提供しています。入院中の経過は、訪問し看護師に伺い経過を把握しています。退院時には担当看護師より情報を伺い、看護サマリを頂いて、退院後の参考にしています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合の対応にかかる指針について、契約時にご家族に説明を行っています。日頃より往診医と連携を図っており、協力を頂いております。	重度化した場合の対応にかかる指針について、契約時にご家族に説明を行っています。日頃より往診医と連携を図っており、協力を頂いております。	過去に看取りの経験もあり、今後も希望があれば受け入れていく。グリーフケアの研修は本社で行い、マニュアルの作成もある。状態変化時は、家族に連絡し希望があれば傍に付き添える準備も出ている。身体的に重度な利用者は、二人介助で入浴する等の工夫で対応出ている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署による研修の参加・ホーム内での研修を行い急変時屋事故発生時に的確な対処が実践出来るよう努めています。	消防署による研修の参加・ホーム内での研修を行い急変時屋事故発生時に的確な対処が実践出来るよう努めています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災(地震)や夜間ヲ想定した避難訓練を年2階行っております。消防署の方のご指導を頂いております。緊急連絡もによる連絡体制の強化を行っております。	火災(地震)や夜間ヲ想定した避難訓練を年2階行っております。消防署の方のご指導を頂いております。緊急連絡もによる連絡体制の強化を行っております。	デイサービスと合同で消防署から訓練指導と消火器の使用指導を受けた。本社からは、3か月に1回、抜き打ちの緊急連絡網・職員の安否情報の確認メールなどの訓練がある。夜間や地震を想定したり、出火場所を変える等の訓練を行っている。地域の消防団に夜警費を払っている	消防団に事業所内の構造を知ってもらうこと、近隣住民には、災害時避難した利用者の保護の協力をお願いするなどの働きかけを期待したい。また散歩や外出時を利用して利用者一人ひとりの避難にかかる時間を把握するなど利用者の負担の少ない訓練方法を工夫することも期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様に対しての言葉掛けには、職員同士が気を付けています。目上の方とすることを念頭に置き言葉かけをしています。帳票類は、外部の方の目に触れないよう配慮しています。	入居者様に対しての言葉掛けには、職員同士が気を付けています。目上の方とすることを念頭に置き言葉かけをしています。帳票類は、外部の方の目に触れないよう配慮しています。	接遇ナーの研修を年1回実施している。排泄時の声掛けのトーンや脱衣室のカーテン等の工夫をしている。何かあるとリスク委員会で課題として検討している。入社時は、認知症の利用者の理解についてしっかり指導している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	外に出たい方、帰宅願望がある方には、職員が付き添いその都度ご本人の意思を尊重しています。入居者様が事故決定できるような支援を心がけております。	外に出たい方、帰宅願望がある方には、職員が付き添いその都度ご本人の意思を尊重しています。入居者様が事故決定できるような支援を心がけております。		

自己評価および外部評価結果

事業所名 ツクイ都留中津森グループホーム

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(竹とんぼ)	ユニット名(紙ふうせん)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人のペースで生活して頂けるよう配慮しています。居室へ立ち入りも必要以上にならないよう心掛けています。面会時にはゆっくりと居室で過ごして頂けるようにしています。	ご本人のペースで生活して頂けるよう配慮しています。居室へ立ち入りも必要以上にならないよう心掛けています。面会時にはゆっくりと居室で過ごして頂けるようにしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2カ月に1度美容師が来所します。ご本人の希望を伺いながらその方にあったスタイリングにして頂いております。外出の際には口紅を塗るなどおしゃれが出来るよう支援しております。	2カ月に1度美容師が来所します。ご本人の希望を伺いながらその方にあったスタイリングにして頂いております。外出の際には口紅を塗るなどおしゃれが出来るよう支援しております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来上がった主菜・副菜等の盛り付けを行ったりお盆への配膳を行っていただいております。また食器洗いや食器拭き等声掛けを行い出来る事を行っていただいております。	出来上がった主菜・副菜等の盛り付けを行ったりお盆への配膳を行っていただいております。また食器洗いや食器拭き等声掛けを行い出来る事を行っていただいております。	ご飯とみそ汁はユニット内で調理するが、主菜・副菜は仕上がった物を湯煎し温めている。塩分控えめで状態に合った食材を使っている。個人の希望に添える範囲は対応している。出前や外食は月3回実施し、おはぎ・団子等のおやつは事業所で作っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個別の食事量・水分量を記入し把握しています。一人一人の状態に合わせた食事形態で提供しています。必要な方にはミキサー食・ムース食・トロミを使用し誤嚥の予防に努めています。	個別の食事量・水分量を記入し把握しています。一人一人の状態に合わせた食事形態で提供しています。必要な方にはミキサー食・ムース食・トロミを使用し誤嚥の予防に努めています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後歯磨きをしていただくよう声掛けを行って頂いております。義歯の方には入れ歯洗浄剤を使用し口腔内の衛生に配慮したり、歯磨きが困難な方には、歯磨きティッシュを使用して清潔保持に努めています。	食後歯磨きをしていただくよう声掛けを行って頂いております。義歯の方には入れ歯洗浄剤を使用し口腔内の衛生に配慮したり、歯磨きが困難な方には、歯磨きティッシュを使用して清潔保持に努めています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を用いて、トイレでの排泄が出来るよう、その方にあった排泄の感覚を把握し声掛け誘導を行っています。その方にあった方法での排泄を考え、オムツはさすが可能な方、そうでない方の見極めもおこない、排泄支援を行っています。	排泄チェック表を用いて、トイレでの排泄が出来るよう、その方にあった排泄の感覚を把握し声掛け誘導を行っています。その方にあった方法での排泄を考え、オムツはさすが可能な方、そうでない方の見極めもおこない、排泄支援を行っています。	介護度の高い利用者が多いが、常時オムツ使用の方は少ない。トイレ誘導しながらも布パンツ・尿取りパット・リハビリパンツ等状態に合った排泄用品を選んでいる。訴えが無くとも態度から察したり、個々の声掛け時間を見て無理のない誘導を心がけている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳製品や野菜・オリゴ糖などを多く摂るようにしています。また階段を上り下りしたり散歩に行ったり体を動かすことも取り入れ、自然排便が出来るように心がけています。	乳製品や野菜・オリゴ糖などを多く摂るようにしています。また階段を上り下りしたり散歩に行ったり体を動かすことも取り入れ、自然排便が出来るように心がけています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴日は特に決めていません。週に2~3回の入浴出来るように心がけています。本人の希望や体調を考慮して入浴を行っています。清潔保持や、全身の皮膚の状態観察も行える機会でもありますので、ご本人の希望を伺いながら気持ちよく入浴して頂けるよう配慮しています。	入浴日は特に決めていません。週に2~3回の入浴出来るように心がけています。本人の希望や体調を考慮して入浴を行っています。清潔保持や、全身の皮膚の状態観察も行える機会でもありますので、ご本人の希望を伺いながら気持ちよく入浴して頂けるよう配慮しています。	最低週2回入浴できるよう支援している。断られた場合は、他の職員が代わる等の工夫で今は入浴を拒否する利用者はほとんどいない。入浴剤やしょうぶ湯・ゆず湯等で入浴を楽しんでもらっている。重度の利用者は、職員2人に対応の工夫をして一般浴槽で入浴している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安眠出来るよう、日中、散歩に出たり体操をして体を動かす活動をするよう心掛けています。またご本人の意向によりいつでも休息出来るようにしています。	安眠出来るよう、日中、散歩に出たり体操をして体を動かす活動をするよう心掛けています。またご本人の意向によりいつでも休息出来るようにしています。		

自己評価および外部評価結果

事業所名

ツクイ都留中津森グループホーム

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(竹とんぼ)	ユニット名(紙ふうせん)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬については、薬状を参考にし職員が把握しています。変更時には、職員に周知出来るようにしています。	薬については、薬状を参考にし職員が把握しています。変更時には、職員に周知出来るようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様個々の出来る事、好きなことを見極め職員がアプローチしハリのある生活が出来るよう働きかけています。花の水やりや畑仕事、メダカのエサやりなど役割を持っていただいています。	入居者様個々の出来る事、好きなことを見極め職員がアプローチしハリのある生活が出来るよう働きかけています。花の水やりや畑仕事、メダカのエサやりなど役割を持っていただいています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎日、散歩や花を見に外に出られるよう援助しています。月に1回は季節に合わせた外出も行っております。ご家族との外出もご希望時にはして頂いております。	毎日、散歩や花を見に外に出られるよう援助しています。月に1回は季節に合わせた外出も行ってっております。ご家族との外出もご希望時にはして頂いております。	毎日の散歩の他にもお花見・いちご狩り・ブドウ狩り・紅葉狩り等に出かけている。毎週の買い物は、職員と一緒に交代で出かけている。ご家族の対応で法事・墓参り・外食等に出たり、友人や近所に住んでいた人との外出もある。	
50		○お金の所持や使うこと 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	法人の規定により、事業所には現金を置いてはいけないことになっています。買い物のご希望があった際には、ご家族に承諾を得てから事業所立替で購入しています。	法人の規定により、事業所には現金を置いてはいけないことになっています。買い物のご希望があった際には、ご家族に承諾を得てから事業所立替で購入しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族からのお手紙が届くことがあります。すぐにご本人にお渡ししています。電話を掛けたいとの要望がある時にはご家族に確認し対応しています。	ご家族からのお手紙が届くことがあります。すぐにご本人にお渡ししています。電話を掛けたいとの要望がある時にはご家族に確認し対応しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日中ほとんどの方がテーブル席に着き、お話しをされたりして過ごしていますので、常に清潔を心がけ、季節のお花を生けたり季節の飾り物を飾ったりして居心地よく過ごせるよう工夫しています。また、温度・湿度の調整もこまめに行っています。	日中ほとんどの方がテーブル席に着き、お話しをされたりして過ごしていますので、常に清潔を心がけ、季節のお花を生けたり季節の飾り物を飾ったりして居心地よく過ごせるよう工夫しています。また、温度・湿度の調整もこまめに行っています。	玄関から2階の階段に続くスペースにはテーブルとイスが用意されてちょっとしたくつろぎの場となっている。トイレや浴室も手すりが付き利用者が安心して利用できる。食堂を兼ねた居間には4畳半の畳コーナーがある。心地よい音量の音楽が流れ利用者は、各々の席で落ち着いた時間を過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室での座位が難しい方が多いので、フロアの自席にて落ち着いて過ごしていただけるよう、ひざかけ等を用意して過ごしていただけるようにしています。	歩行が自立しているお客様が多いので、和室にコタツをしてお客様同士足を温めながら過ごして頂けるような空間を作っていきたいと思っております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家で使用していた、馴染みの物を使用して頂き、違和感なく過ごして頂けるようにしています。	家で使用していた、馴染みの物を使用して頂き、違和感なく過ごして頂けるようにしています。	家庭と同じ環境で安心して生活が始められる様という事業所の考えがあり、エアコン・クローゼット・ハンガー掛け・カーテンの提供のみである。ベッド・寝具・鏡台等の家具やテレビ等の備品も個々の好みで配置してその人らしい居室になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物全体がバリアフリーになっています。トイレ・廊下・浴室・階段・玄関に手すりが設置されており、トイレはわかりやすいように張り紙と目印がついています。また居室には表札(手作り)もついており自分の居室に迷うことなく、行くことが出来るよう配慮しています。	建物全体がバリアフリーになっています。トイレ・廊下・浴室・階段・玄関に手すりが設置されており、トイレはわかりやすいように張り紙と目印がついています。また居室には表札(手作り)もついており自分の居室に迷うことなく、行くことが出来るよう配慮しています。		